

洛中洛

外凶屏

風展

空から
京都を
みこみよう

〔意図〕

「写真」という時代や思い出を明確に残すことのできる媒体はごく最近普及したもので、昔の人々は自分の周りの様子や景色を残すために「絵」で表現していました。

特に人々の様子を細かく描写された作品に「洛中洛外図屏風」があります。

洛中洛外図は1つの作品ではなく、時代が異なり作者も違う作品が多数つくられてきました。もちろん違いはさまざまな部分にありますが、京都の町の描写の丁寧さ、身分や年齢の違う多様な人々が表情豊かに暮らしている姿が見られる部分はどの絵にも共通しています。そして、そこが洛中洛外図などの細かい描写を含む絵を“読む”上で最大の楽しみとなるものです。しかし、絵の中の細かい描写を理解することは所蔵されている博物館などでただ見るだけでは難しく、面白みも感じづらいでしょう。

そこで今回の「洛中洛外図屏風展」では、大人から学生などのまだ絵の“読み方”の知らない人、絵の見方がわからない人まで、どのような人にもわかりやすく楽しく絵を見てほしいと考えています。

絵を理解する体験をしやすくすることで、より絵に興味を持てる・絵を見る楽しさのわかる展覧会を目指します。そしてこの展覧会を通して、また展覧会で絵を見たいと思ってくだされれば幸いです。

〔第1部 京都の人々、その暮らし〕

洛中洛外図に描かれている人々の年齢、職業、身分は様々。

私たちの知らない風習の発見があれば、今につながる生活の様子を見ることもできるだろう。

前期・後期で展示をする洛中洛外図屏風が異なるため、展示のものに沿った内容でそれぞれピックアップする絵のシーンを変える。



鶏合わせ(闘鶏)をする様子



桂女が歩く様子



見世棚に毛抜きと櫛が置いてある

〔第2部 京都の春夏秋冬〕

洛中洛外図は季節ごとの京都の様子を人々の様子、景色の移り変わりで表現している。現在も行われている季節の行事を見ることができるため、当時の人々を身近に感じる人もいれば、この絵を通して新しく日本の伝統を知る人もいるだろう。



七月 風流踊り



建物に雪が積もる様子



春に三条西邸で花が咲いている様子

〔第3部 洛中洛外図の“モノ”〕

このテーマでは、洛中洛外図に描かれている人が使っているモノを展示し、実際に見ることでより絵の様子を身近に感じてもらいたい。

観覧者が展示品に触れられるコーナーを設け、触ることで発見を得られるようにする。

前期・後期で触れられる展示を変えることで、それぞれで新たな体験ができるようにする。



いずめに子供が入っている(いずめ)



杓に桶を付けて売り歩く(杓・桶)



荷を頭に乘せて運ぶ(荷・風呂敷)

〔第4部 時代を超えてつくられる洛中洛外図〕

室町時代から江戸時代まで、多くの洛中洛外図屏風がつくられてきた。

時代の違う洛中洛外図を比べることで、細かい視点では建物や人、町の空間の表現の違いを発見できたり、広い視点では京都の変わった部分と変わらない部分を絵の雰囲気を通して大きく感じることができる。

このテーマでは様々な時代の洛中洛外図屏風を取り上げるため、前期・後期で内容は変えない。



左：歴博甲本 右：歴博乙本 の祇園社

〔第5部 洛中洛外図の京都と“京都”〕

洛中洛外図はどれほど本当の京都を表現しているのか。

絵の中には現存している寺社などの建物が多く描かれているため、洛中洛外図の中の絵と実際の写真を並べ、今の風景との比較をする。



歴博甲本の金閣寺と実際の金閣寺



歴博甲本の五条橋と現在の五条橋

〔第6部 洛中洛外図〕

最後のテーマでは、洛中洛外図屏風の実物を展示する。

実際のサイズの屏風絵が見れることで、今までのテーマで気になった部分を探したり、本物がどれほどの大きさを描かれているのかを知ることができるのでより記憶に残る展示となるだろう。



前期：歴博甲本 右隻



後期：歴博甲本 左隻

〔洛中洛外図の世界に入ろう！〕

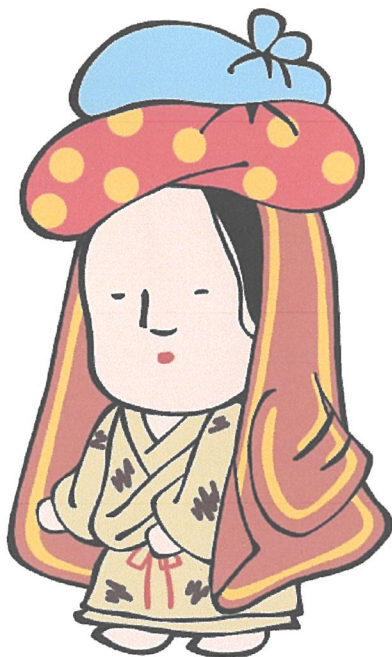
〔洛中洛外図メーカー企画〕

リアルタイムで、その場でカメラの前にいる人を洛中洛外図の絵の中のように画面に反映させるという企画。反映させる洛中洛外図も、ただ画像を使うのではなく絵の人が動いているアニメーションを付けて、カメラの前で動いて楽しめるようにする。

〔洛中洛外図屏風展ゆるキャラ〕

展覧会をより幅広く人に興味を持ってもらうため、キャラクターを用いて宣伝をする。

広告・ポスター・インターネットの他に、SNS を使って開催を伝えキャラクターを生かした宣伝をすることで、普段展覧会にあまり興味を持たない人や、若い世代の人にも展覧会に足を運んでもらえるようにしたい。



洛中洛外図の「頭にものを乗せて運ぶ女」をモチーフにしたゆるキャラ。
絵の中の人物をモチーフにすることで
絵に対する興味を持ってもらえるようにする。

[参考文献]

洛中洛外図の世界―室町時代の京都を見る― 井上知明

洛中洛外図屏風 つくられた〈京都〉を読み解く 小島道裕

[画像]

<https://travel.navitime.com/ja/area/jp/guide/NTJpoi0289/>

https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/gallery/webgallery/rakuchu_kou/rakuchu_kou_r.html

[https://www.rekihaku.ac.jp/rakuchu-](https://www.rekihaku.ac.jp/rakuchu-rakugai/DB/kohon_research/kohon_people_DB.php?t=20181018172312&mode=3&p=4%26283%26A%3A%E5%A5%B3%26154%26825&btype=a)

[rakugai/DB/kohon_research/kohon_people_DB.php?t=20181018172312&mode=3&p=4%26283%26A%3A%E5%A5%B3%26154%26825&btype=a](https://www.rekihaku.ac.jp/rakuchu-rakugai/DB/kohon_research/kohon_people_DB.php?t=20181018172312&mode=3&p=4%26283%26A%3A%E5%A5%B3%26154%26825&btype=a)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%94%E6%9D%A1%E5%A4%A7%E6%A9%8B>

https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/gallery/webgallery/rakutyuu/index.html